

Windows 7 の PC における Windows Update の不具合について

12月上旬頃から Windows 7 および Windows Server 2008 R2 の PC において Windows Update 実行時にエラーが発生する不具合が確認されています。Microsoft からの情報によると、対応は済んでおり問題は解消されているので、端末側の対処は不要とのことですが、一部の端末においては自動的に問題は解消されず、手動での対処が必要です。「スタート」→「すべてのプログラム」→「Windows Update」を起動し、エラーが出たり動作が固まる場合は対処が必要です。マイクロソフトのサポートサイト（Microsoft Japan WSUS Support）の下部「Windows Update クライアントの情報をクリアにする手順」を参照し対処を行ってください。

【Microsoft Japan WSUS Support】

<https://blogs.technet.microsoft.com/jpwsus/2017/12/07/win7-0x80248015/>

Windows Update が実行されないまま PC を使用すると、セキュリティ上の欠陥等が修正されず、脆弱性を悪用したウイルスに感染する等の危険にさらされることとなります。Windows 7 および Windows Server 2008 R2 をお使いの方は、Windows Update が実行されるか必ずご確認を行っていただくようお願いいたします。この件についてのお問い合わせや、ご不明な点がございましたら、情報基盤センターまでお知らせください。

年末年始のセキュリティ対策

年末年始には、普段と比較してスパムメールやサイバー攻撃の回数が増加するといわれています。また、休暇中に OS やアプリケーション、ウイルス対策ソフトのアップデートが長期間行われないことから、ウイルス等の被害を受けやすくなるともいわれています。これらの点から、休暇中に届いたメールの確認は要注意です。

・長期休暇明けの修正プログラム・定義ファイルの更新

長期休暇明けには、OS やプログラムの修正プログラムが多数更新されている場合があります。また、コンピューターを起動しない期間に更新されたウイルス対策ソフトの定義ファイルが反映されていないため、ウイルスに対して無防備となる可能性があります。休暇明けには、これらの更新を確実に行うようにしましょう。

・ばらまき型メールに注意

実在の企業などを騙り、不特定多数へ送りつけられる不審なメールが増加しています。長期休暇明けのメール確認の際に、誤って不審なメールの添付ファイルや本文中の URL にアクセスしたりしないように注意してください。もし、不審なメールの「添付ファイルを開いてしまった!」「本文中の URL にアクセスしてしまったかも?」という場合には、情報基盤センターまでご相談ください。

IPA 情報処理推進機構には、長期休暇へ向けたセキュリティ対策に関するページがありますので、今一度、自宅や職場のパソコンのセキュリティ対策を確認してみてください。

【IPA 情報処理推進機構「長期休暇における情報セキュリティ対策」】

<https://www.ipa.go.jp/security/measures/vacation.html>

情報基盤センター 年末年始業務のご案内

年末年始休暇に伴い、情報基盤センターおよびコンピューター教室の年末年始の業務については下記の通りとなりますので、よろしくお願い致します。

情報基盤センター 休業期間：12月29日(金)～1月3日(水)

コンピューター教室 休業期間：12月28日(木)～1月3日(水)

年末年始休暇期間中、情報基盤センターへの連絡はメールにてお願い致します。

連絡先メールアドレス：cict@dokkyomed.ac.jp

※回答や対応は基本的に1月4日(木)からとなります。ご了承ください。

どうぞよいお年をお迎えください!